

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 見附市立今町小学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例：小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒954-0111

新潟県見附市今町6丁目19番地1号

E-mail imasho@mitsuke-ngt.ed.jp

Website http://www.mitsuke-ngt.ed.jp/~imasho/index.html

幼児児童生徒数 男子 206名 女子 218名 合計 424名

幼児・児童・生徒の年齢 7歳～12歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

3. 活動内容

<目 的>

当校は、地域の伝統文化や自然環境などを調べたり体験したりして地域のよさを実感し、ふるさと今町を愛する心や地域を守り引き継いでいこうとする態度を育て、持続可能な社会づくりをめざす。

(1) 1年間の主な活動内容

① 地域の伝統文化とつながる学習活動

新潟県無形文化財の「今町・中之島大凧合戦」にかかわる学習では、「大凧伝承館」の見学と地域の方へのインタビューを通じた大凧の歴史学習(3年)や凧協会の指導による六角凧の製作

体験(4年)、「大凧合戦」祭りへの参加と凧揚げ体験(5年)等、段階的に体験を積み重ねた。

また、明治から伝わる「べと人形」の製作体験(3年)にも取り組んだ。子どもたちは、歴史と伝統の重みを身近に感じ、誇りや大切にしたい



いと願う気持ちをもつことができた。

② 地域の学習材や地域を生かす学習活動

まち探検（2年）や防災学習（4年）等、地域の学習材を生かす学習を通して、子どもたちは地域のよさや協力することの大切さを学んだ。また、校縦割り班で地域を巡る「ふたばチャレンジウォーク」を実施では、今年度新たに地域ボランティアガイドを活用した史跡巡りを実施した。子どもたちは学区を巡り、地域の歴史やそのよさを感じた。さらに、校舎周辺の植栽活動（児童会委員会活動）では、地域の協力を得て、子どもたちが校門前の花文字作りや前庭整備・水やりなど、多くの活動に熱心に根気よく取り組んだ。



③ 自然環境を生かす学習活動

田園を中心とした豊かな自然環境を生かした体験活動を組織した。栽培活動（1, 2年）では、子どもたちが地域のボランティアの指導を受けながらアサガオや野菜を育て、世話することの難しさや収穫の喜びを感じることができた。また、稲作体験（5年）では、田植えや稲刈りを通じた栽培・収穫の喜びはもちろん、水管理や除草体験、農業生産にかかわる問題や食糧問題、そこに携わる人々の思いや願いなど、多くのことを学んだ。

学習を通して、子どもたちは、地域の自然や環境の大切さに気付き、それらを守ろうという気持ちをもつことができた。

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input checked="" type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
--------------------------------------	---

<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

ユネスコスクールとしての活動は主に総合的な学習の時間の中に位置づけ、体系的、系統的に配置し、6年間で総合的に学びを深める【風のプラン】として実践している。総合的な学習の時間の中でも、特に地域の伝統や文化とつながる活動を中心に行われている。当校の地域には、江戸時代から伝わる大風合戦や土（＝べと）で作られるべと人形など、古くから伝わる伝統文化が根強く残っている。それらを題材としながら、地域の方々とのつながりを通して地域のよさを実感し、ふるさと今町を愛する心や地域を守り引き継いでいこうとする態度を育て、持続可能な社会づくりをめざしている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

学校全体で組織的に行うために、6年間を見通した総合学習の計画を作って活動を行っている。継続的な活動ができるように、地域ボランティアを募集し、ボランティアの方々の協力を得て、活動を行っている。また、CSを中核として、学校支援地域本部の各団体の協力を得ながら組織的、計画的、継続的に活動を進めている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

学校活動の内部評価としては、児童や職員からアンケートを取って学校評価を行っている。学校評価には、保護者のアンケートも反映され外部からの評価にもなっている。また、学校運営協議会を開催し、地域の方の意見を取り入れながら、評価を行っている。それによって、地域とのかかわりを重視した教育活動の展開、子供の郷土愛・社会性の向上が成果でもあり、同時にさらなる課題ともなっている。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。（200字程度）

※チェック事項 2-2 に対応

大風合戦を通して新潟市の大通小学校との交流や、六角凧作り、べと人形作りを通して、TVや新聞などの取材を受け活動が県内・市内に発信された。それによって、保護者、地域の方々とのコミュニケーションがさらに活性化し、児童の活動に対する達成感、成就感が高まり、地域への愛着心が高まった。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）（200字程度）

※チェック事項 2-3 に対応

地域ボランティアの方の協力を得るために、地域コミュニティと連携し、地域の活動にも協力している。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）
※チェック事項2-4に対応

市内各校（市内全校加盟）との情報交流、市教育委員会との連携など、見附市内を中心にねとネットワークを形成している。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項2-5に対応

ユネスコスクールとして行う総合学習は、グランドデザインの中に位置付けられている。さらに、1中学校区1小学校の利点を生かし、小中連携して活動のつながりを作って活動をしている。

- (3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

1年
栽培活動（アサガオ）、グリーンカーテンづくり
2年
栽培活動（野菜作り）
3年
べと人形作り、六角凧作り
4年
大凧合戦の地域学習及び他地域の小学校との交流、防災キャンプ
5年
凧合戦体験及び他校との交流、稲作体験
6年
地域の歴史学習、地域の方との交流を通じたキャリア教育